

暮らし・営業まもるため共産党躍進を

比例近畿4議席へ業者後援会決起集会

清水・大門さん Wトーク 党議席の値打ち縦横に語る

9月以降いつあってもおかしくない総選挙で事業者の願い実現へ「共産党躍進、比例近畿4議席回復必ず」と27日夜、初めての近畿業者オンライン決起集会が行われ、200か所以上で視聴されました（視聴人数



は事前確認で約500人、YouTubeでの接続回数は730以上＝28日朝)。清水ただし衆院議員（近畿比例）、大門みきし参院議員のWトークでは持続化給付金を実現、支給改善させたなど党議席の値打ちをユーモアたっぷり、縦横に語り大好評でした。

●保守の人にも働きかけよう

西田さえ子比例近畿予定候補（生野民商顧問）の司会で進められ、民商・京商連後援会代表世話人の久保田憲一さんが開会あいさつ。京都の伝統工芸士団体のトップが「比例は共産党に入れてきた」と自民党国会議員の前で堂々と語ったことを挙げ、保守の人にも働きかけようと訴えました。

Wトークではコロナ感染急拡大の下での五輪強行について、清水さんは「安心・安全の大会になっていない。コロナ対策に全力を」、大門さんは強行の理由は①テレビ放映権料が入るなどの利権②菅政権延命のための政治利用だと指摘しました。

●持続化給付金創設・支給改善に大きな役割、

利用430万件、5.5兆円の最大の中小事業者支援となっている持続化給付金について、大門さんが創設に大きな役割を果たしたこと、支給改善は清水さんの質問が転機になったことが「とっておきの話」として紹介。質問の映像も流され、二人の奮闘と党議席の値打ちが浮き彫りになりました。

一時支援金を何度申請しても「書類不備」などとして支給されない問題でも、清水さんは「あきらめず力を合わせよう」と訴え。インボイス導入ストップ、消費税5%減税も主張しました。最後に清水さんは「声を上げれば政治は変わる」、大門さんは「コロナ対策は野党に任せよ。政権交代を」と訴えました。

●要求掲げてたたかう選挙に

近畿6府県からコロナ下での営業の厳しさを訴える声が次々出されるとともに、「素早く動いていただき、多くの業者が救われた」（和歌山）など感謝、「総選挙勝利へコロナの下でもやれることは沢山ある」（京都）など決意が語られました。



これを受けて清水さんは「業者の皆さんの要求を掲げてたたかう選挙に」、西田さんは「共産党には制度をつくる側になってほしいという声にこたえて頑張る」と決意。大阪業者後援会の浅野純一副会長が行動提起、兵庫後援会代表世話人の土谷洋男さんが閉会あいさつし、「近畿はひとつ、比例4議席必ず」と訴えました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 36(2021.7.28)